

世界の食料安全保障に貢献する国際協力の推進（ODA）

【2, 745（2, 642）百万円】

対策のポイント

世界の食料安全保障に貢献するため、途上国におけるフードバリューチェーンの構築支援、飢餓・貧困対策、気候変動等の地球的規模の課題への対応等の国際協力を実施します。

<背景／課題>

- ・世界には約8億人に及ぶ飢餓人口が存在する中、世界の食料安全保障に貢献するため、生産・加工・流通・消費に至るフードバリューチェーンの構築を通じた農業生産性及び農村所得の向上、農林水産業への支援を通じた飢餓・貧困の解消を進める必要があります。
- ・また、農林水産業への悪影響を及ぼす気候変動や越境性感染症等の地球的規模の課題への適切な対応が必要です。

政策目標

- 途上国におけるフードバリューチェーンの構築
- 途上国の飢餓・貧困削減に向けた対策の推進
- 気候変動や越境性感染症等の地球的規模の課題への対策の推進

<主な内容>

1. 途上国におけるフードバリューチェーンの構築支援 936（924）百万円

- (1) 優良品種や農業生産技術の現地への導入等を実施します。
- (2) 現地の食産業の担い手育成、食品規格等の国際基準調和等を通じてビジネス環境を整備します。
- (3) 途上国において導入可能な我が国の食産業が有する技術の調査・実証、流通・投資環境の改善等を支援します。

（事業実施主体：国際連合食糧農業機関（FAO）、ASEAN事務局、民間団体等）

2. 飢餓・貧困対策の推進 340（372）百万円

- (1) アフリカのコメ生産倍増のための水稻栽培技術の実証・普及や、コメの販売による収入向上に向けた技術普及、途上国の持続的農業の推進等に係る人材育成等を支援します。
- (2) アフリカのイモ・マメの増産・生産性向上等の研究や、天水稲作における生産性向上システムの開発を支援します。
- (3) 栄養評価法の開発導入、栄養に関する講義・セミナーによる人材育成等を通じて栄養改善を支援します。

（事業実施主体：国連世界食糧計画(WFP)、国際農業研究協議グループ(CGIAR)等）

3. 地球的規模の課題への対策の推進 1, 469（1, 346）百万円

- (1) パリ協定を踏まえた気候変動対策として、途上国が農地土壌からの吸排出量を評価する能力の向上、森林減少・劣化の抑制及び植林等による排出削減・吸収拡大に向けた取組、違法伐採の撲滅等に向けた森林関連法制情報の整備を推進します。
- (2) アジアにおける口蹄疫や鳥インフルエンザ等の越境性感染症対策及び薬剤耐性菌対策を推進します。
- (3) 途上国や地域漁業管理機関と協力し、マグロ等水産資源の持続的利用を推進します。
- (4) 大規模災害等に備えるための東アジア地域における緊急米備蓄の取組を推進します。

（事業実施主体：国際連合食糧農業機関（FAO）、国際獣疫事務局（OIE）、民間団体等）

[お問い合わせ先：大臣官房海外投資・協力グループ（03-3502-5913）]